

CONTENTS

疾患を絞り込む・見抜く！ 身体所見からの臨床診断

はじめに―身体所見の取り方― 宮城征四郎

総論●診察をはじめる前に

1 身体診察の準備	徳田 安春	12
1) 診察時の基本マナー		12
2) 診察時の環境		13
3) 全身を診察するときの手順		13
2 指導医による研修医との回診の進め方	宮城征四郎	15
■ 回診時の注意		15
1) 血圧に着目した回診の進め方		15
2) 挿入するミニレクチャーの例		16
3 臨床疫学に基づく診断推論	徳田 安春	17
1) 疾患の有病率を考慮する		17
2) 疾患の男女比を考慮する		19
3) 慢性疾患の有病率を考慮する		19
4) 主要な死因を考慮する		23

各論●身体所見からの臨床診断

1 生命徴候の臨床的意義	宮城征四郎	26
■ バイタルの病態生理学的解釈		26
1) 血 圧		26
2) 脈 拍		27
3) 呼 吸		28
4) 体 温		28
5) 意 識		28
6) 尿 量		30

■ 研修医の症例報告に対する指導とProblemsの病態生理の検討	30
1) 医療面接	30
2) 症状の生理学的説明とは	30
3) 検査前のバイタルとの併読とは	31
4) 薬剤, ラインの適応, 期間の討論	31
5) 先手必勝の医療とは	31
6) 回診中に挿入するミニレクチャーの実例	31

2 外観のフィジカル診断	徳田 安春 33
1) 表情	33
2) 姿勢・歩行・動作	34
3) 身だしなみ・衣服・衛生状態	35
4) 身長・体重・BMI	35

3 全身のリンパ節のフィジカル診断	横田 恭子 37
■ 身体所見の重要性	37
■ リンパ節にかかわる身体所見	37
1) なぜリンパ節は腫れるのか?	37
2) 医療面接のポイント	38
3) 診察のポイント	38
4) リンパ節が腫脹している, では次に何を診るのか?	38
5) リンパ節の大きさ, 硬さ, 局所の疼痛, 周囲の炎症所見の有無, 皮膚所見	45
6) その他の症状	45

4 HEENT(頭部,眼,耳,鼻,口腔・咽頭)のフィジカル診断	入江聡五郎 46
■ 身体所見の重要性	46
■ 頭痛の考え方	47
1) 頭蓋内疾患	47
2) 頭蓋外疾患	48
■ 意識障害の考え方	52
意識障害の身体所見	52
■ 眼球結膜の貧血所見の考え方	56

5 頸部のフィジカル診断	入江聡五郎 58
■ 身体所見の重要性	58
■ 急性期患者の頸部診察	58
1) 気道	59
2) 呼吸	60
3) 循環	63

CONTENTS

■ 外傷時の頸部診察	63
バイタルサインの評価	64

6 循環器のフィジカル診断

安里 浩亮 69

■ 身体所見の重要性	69
------------------	----

I. 循環器疾患にかかわる全身の身体所見

1) 外観 (general appearance)	69
2) 頭部・顔面 (head and face)	70
3) 眼 (eyes)	71
4) 眼底 (fundus)	71
5) 皮膚と粘膜 (skin and mucous membrane)	72
6) 四肢 (extremity)	73
7) ばち指 (clubbing of the fingers and toes)	74
8) 浮腫 (edema)	75
■ 胸部と腹部 (thorax and abdomen)	76
1) 胸 部	76
2) 腹 部	76
■ 頸静脈波 (jugular venous pulse)	77
1) 動脈波と静脈波の鑑別	77
2) 腹部頸部静脈逆流 (abdominojugular reflux)	78
3) 静脈波形の型 (pattern of the venous pulse)	78
4) 疾患による変化	79
■ 動脈圧測定	81
1) 上肢の血圧	81
2) 下肢の血圧	81
3) コロトコフ音 (Korotkoff sounds)	82
4) 聴診間隙 (auscultatory gap)	82
5) 安静時の血圧	82
6) 起立性低血圧 (orthostatic hypotension)	82
■ 動脈波 (arterial pulse)	83
1) 正常動脈波 (normal pulse)	83
2) 異常動脈波 (abnormal pulse)	83
3) 大動脈弁閉鎖不全 (aortic regurgitation)	86
4) 二峰性脈 (bisferiens pulse, pulsus bisferiens)	87
5) 重複脈 (dicrotic pulse, pulsus duplex)	88
6) 交互脈 (pulsus alternans)	88
7) 二段脈 (pulsus bigeminus)	88
8) 奇脈 (pulsus paradoxus)	88
9) 血管病における動脈	89

II. 心臓の身体所見 89

■ 視診 (inspection)	89
■ 触診 (palpation)	91
1) 左心室 (left ventricle)	91
2) 右心室 (right ventricle)	93
3) 肺動脈 (pulmonary artery)	94
4) 左心房 (left atrium)	94
5) 大動脈 (aorta)	95
■ 打診 (percussion)	95
■ 聴診 (auscultation)	95
1) 原理と技術 (principles and technique)	95
2) 心音 (heart sounds)	96

III. 心雑音を有する患者へのアプローチ120

■ 心膜摩擦音 (pericardial rubs)	121
■ 動的聴診 (dynamic auscultation)	122
1) 呼吸 (respiration)	122
2) Valsalva手技	122
3) Muller手技	123
4) 体位変換と運動 (postural change and exercise)	123
5) 期外収縮後増強 (postextrasystolic potentiation)	126
6) 薬物効果	128

7 呼吸器のフィジカル診断

宮城征四郎 133

■ 身体所見の重要性	133
■ 呼吸器疾患にかかわる全身の身体所見	133
1) 全身状態	133
2) 皮膚病変と呼吸器	133
3) 耳	135
4) 眼	135
5) 鼻	136
6) 口 腔	136
7) 頸 部	137
8) 腹 部	138
9) 四 肢	139
■ 呼吸器疾患の身体所見	140
1) 嗅 診	140
2) 視 診	140
3) 触 診	142
4) 打 診	142
5) 聴 診	143

CONTENTS

8 腹部のフィジカル診断

徳田 安春 146

■ 身体所見の重要性	146
■ 腹部の身体所見	147
1) 視 診	147
2) 聴 診	150
3) 触 診	152
4) 打 診	157
5) 直腸診	159

9 筋骨格系のフィジカル診断 —リウマチ膠原病大原則

岸本 暢将 162

■ 身体所見の重要性～シャーロックホームズの勧め～	162
■ リウマチ性疾患に関わる全身の身体所見	163
1) 全身の皮膚所見（粘膜・爪を含む）を見逃すな	163
2) 頭部・耳鼻咽喉部	165
3) 目	168
4) 循環器系の身体所見	169
5) 呼吸器系の身体所見	169
6) 消化器系の身体所見	170
7) 泌尿生殖器系の身体所見	170
8) 神経系の身体所見	171
■ リウマチ性疾患に関わる関節所見	171
コラム1●最近話題の抗CCP抗体	174
コラム2●関節リウマチ：DAS28を使った治療目標～Treat To Target～	175
コラム3●あちこち痛い患者の落とし穴	176

10 皮膚のフィジカル診断

鶴田雄一郎 178

■ 身体所見の重要性	178
■ 皮膚の身体所見	178
1) 発疹のみかたと記載・記録	178
2) 発疹とは	181
3) 実地診療の流れ	181
■ 各皮膚疾患の診断と治療	183
1) 蕁麻疹	183
2) 湿疹・皮膚炎	183
3) 皮膚感染症	185
4) 薬 疹	186

11 神経のフィジカル診断

城之園 学 188

■ 身体所見の重要性	188
コラム1●関節の拘縮	188

■ 神経疾患にかかわる全身の身体所見	189
1) 外 観	189
2) 頭部・顔	190
コラム2●眼底の見かた	191
■ 神経の身体所見	192
A. 覚醒レベル, 見当識	192
B. 脳神経	193
1) 半 盲	193
2) 対光反射	194
3) 眼球運動	195
4) Horner症候群	196
5) 顔面筋（口輪筋, 眼輪筋, 前頭筋など）の麻痺：顔面神経（Ⅶ）	197
6) 難聴と眼振	199
コラム3●突発性難聴の聴力検査	200
7) 軟口蓋反射・カーテン徴候：延髄の障害	200
8) ろれつ難のみかた	201
C. 運動機能	201
1) 中枢性麻痺のみかた：Barré テスト	201
2) 末梢性麻痺のみかた：徒手筋力テスト(MMT)	203
コラム4●腱反射のみかた	204
3) 筋強剛（rigidity）：パーキンソニズム	204
4) 手指振戦	206
D. 感 覚	207
1) 上肢のしびれ	208
2) 下肢のしびれ	210
E. 歩行・姿勢	212
F. 高次脳機能	213
1) 失 語	213
2) 左半側空間無視	214
付録 身体所見からの臨床診断 一覧	215
索引	238
おわりに	徳田 安春 244
編著者プロフィール	245